

第4章 目黒区環境マネジメントシステムの取組

区の環境マネジメントシステムである「目黒区地球温暖化対策推進第二次実行計画（めぐろエコ・プランII）」における2016（平成28）年度の取組実績と、取組に対する評価について報告します。

2016（平成28）年度の取組結果

（本編P.61～65）

全区有施設を対象として、低炭素社会実現に向けた総合的な温室効果ガスの削減と循環型社会実現に向けたエネルギー使用量の削減やごみの減量など、環境負荷の低減の取組を進めました。

● 温室効果ガス排出量・エネルギー使用量の削減

省エネルギー機器の導入及び節電に取り組みましたが、9月の気温と湿度が高かったこと及び11月の気温が低かったことなどにより、電気・ガスの使用量が増えて、温室効果ガス（二酸化炭素換算）排出量原単位は、2012（平成24）年度（基準値）と比較して1.8%増加しました。また、エネルギー（原油換算）使用量原単位も、2012（平成24）年度（基準年）と比較して1.5%増加しました。

温室効果ガス（二酸化炭素換算）総排出量（算出方法：使用量など×排出係数）について排出源別に見ると、電気（65.2%）、次いで都市ガス（29.0%）となっており、上位2項目で94.2%を占めています。このことから、温室効果ガスの排出量の削減には、電気・ガスの使用量を削減することが重要であるといえます。

＜温室効果ガス排出量・エネルギー使用量と内訳＞

区分	2012 (平成24) 年度 (基準年)	2016 (平成28) 年度	対基準 年度比
温室効果ガス (二酸化炭素換算) 排出量原単位 (単位:t-CO ₂ /千㎡)	43.071	43.853	+1.8%
エネルギー(原油換算)使用量 原単位 (単位:KL/千㎡)	23.415	23.766	+1.5%
電気(千kWh)	32,081	32,281	+0.6%
都市ガス(千m ³)	2,862	2,848	-0.5%
水道(千m ³)	793	730	-7.9%
下水道(千m ³)	799	726	-9.1%
ガソリン*(千L)	38	48	+26.3%

※ ガソリンは使用量ではなく購入量

● 環境負荷の低減に向けた取組

前年度以下の量に減らすことを目標に、ごみの排出量と紙の使用量削減に取り組んでいます。2015（平成27）年度と比較するとごみの排出量は増加しました。紙の使用量のうち、用紙の購入量は増加しましたが、外注印刷物は減少しました。

＜ごみの排出量＞ (単位:t)

区分	2015 (平成27) 年度	2016 (平成28) 年度	対前年度比	
排出量	1,106	1,123	+1.5%	
内訳	燃やすごみ	934	940	+0.6%
	燃やさないごみ	145	157	+8.2%
	資源	27	25	-7.4%

＜紙の使用量＞ (単位:万枚)

区分	2015 (平成27)年度	2016 (平成28)年度	対前年度比
用紙の購入量	3,862	4,166	+7.9%
外注印刷物	4,025	3,480	-13.5%

※ 紙はA4サイズに換算しています。

2016（平成28）年度の取組に対する評価

区民の皆さんと学識経験者からなる第三者評価委員会が、「めぐろエコ・プランII」の2016（平成28）年度取組結果について評価しました。評価結果を踏まえ、今後も環境負荷の低減に努めていきます。

○ [取組全体に対する意見] ○

あと2年で、削減目標を達成しなければならないが、達成に向けて抜本的な改善策を検討する必要がある。気温の変動にめげず、エネルギーを減らす体制や取組を検討してほしい。啓発や取組手法も新たなチャレンジをして、インパクトを与えてほしい。今年も3か月が経過しているので、早急に検討・対応を望む。